

2024年2月20日

各位

会社名 GMOメディア株式会社  
代表者 代表取締役社長 森輝幸  
(コード番号 6180 東証グロース)  
問い合わせ先 常務取締役 石橋正剛  
管理部門統括  
TEL 03-5456-2626

## 2023年12月期 通期決算 質疑応答集

2024年2月5日に公表した当社の2023年12月期通期決算に関し、当社で想定していました質問および公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合わせ、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q：2023年12月期は営業利益率が前期比で約3.0pt上昇していますが、大きく寄与したビジネスについて教えてください。また、営業利益率は中長期的にどの程度まで引き上げられそうでしょうか。

A：広告ゲーム事業において、サイト改善などにより下期に広告単価が好調に推移いたしました。また、ポイント事業においても、広告面の増加などにより利益率の高い運用ができたことなども要因となっています。2024年12月期は、AIを活用した業務効率化を推進させ営業利益率9.4%を目指しています。

Q：ソリューション事業の利益が下がっていますが、状況と展望を教えてください。

A：2023年度下期より、GMOリピータスのシステム開発への投資を実施しており、開発期間は2024年6月ごろまでを見込んでおります。現状、クライアントごとにカスタマイズしたサービス提供を行っていますが、中小規模の企業でも導入しやすく汎用性のあるライト版のシステムを開発しています。今期の下期より試験導入していく予定のため、来期以降から予算に組み込む見通しです。

Q：プログラミング事業における競合環境と、伸びゆく市場で御社がシェアを拡大できる強みなどがあれば教えてください。

A：プログラミング教育のプラットフォームにおいては大きくシェアを獲得できていると認識しております。

子ども向けにおいては、教室掲載数・口コミ掲載数 No.1 を維持しており、社会人向けにおいても口コミ掲載数で No.1 を獲得しております。特に成長している社会人向けでは、プログラミングの他に、デザインや動画編集、人材など非プログラミング領域も強化していく予定です。

Q：2024 年 12 月期業績予想（売上高前期比+10.1%、営業利益前期比+22.0%）は保守的な見立てでしょうか。

A： 広告事業は外部要因などにより変動しやすいこともあり、慎重に計画しております。

以上